

『第10次兵庫県職業能力開発計画』の骨子（素案）

第1章 総論

1 位置づけ

- (1) 今後の職業能力開発に関する中期的な基本方針
- (2) まち・ひと・しごと創生に係る県の総合戦略として、人口対策と地域の元気づくりを柱とする目標・基本方針を定めた『兵庫県地域創生戦略』（平成27年10月策定）及び経済・雇用分野における県政運営の基本的な考え方及び具体的施策の方向を示す『ひょうご経済・雇用活性化プラン』（平成26年3月策定）を踏まえた計画

2 計画期間 平成28～32年度（5年間）

第2章 職業能力開発を取り巻く環境と課題

1 雇用・経済をめぐる状況

- (1) 人口 本県の人口 552万人(平成27年11月推計) 9次計画から7万人減少しており今後も減少見込み。生産年齢人口(15歳～64歳)は減少するが、65歳以上人口は増加し、うち有業者が増加傾向。
- (2) 雇用状況 有効求人倍率は平成27年8月以降1倍を超え、平成3年以來の高い水準が続いている。建設・介護・福祉分野等で人手不足感が強い。
- (3) 経済状況 一部に弱い動きが見られるものの、基調としては緩やかに持ち直している。
- (4) 今後の経済状況
兵庫県地域創生戦略による2020年の経済状況の推計では、地域の元気づくりにより県内総生産（GDP）で20.6～21.2兆円程度（2014年度：20.0兆円）、県民総所得（GNI）で23.3～24.1兆円程度（2014年度：22.3兆円）を見込む。

2 職業能力開発の現状と課題

(1) 求職者の就業ニーズへの対応面での課題

- ① 若者の就業支援、女性や高齢者の活躍推進、障害者の雇用拡大等の推進のため多様な人材の能力開発が必要。
- ② 非正規雇用労働者の増加に対応し、キャリアアップや正規雇用への転換のための能力向上が必要。
- ③ 地域創生戦略のもと若者等の兵庫へのふるさと意識や職業観を醸成し、それぞれの地域で就業を希望する者への対応が必要。
- ④ 多様な働き方・生き方を実現するための起業促進やWLBの推進等個々の能力を生かす環境づくりが必要。

(2) 産業界・地域の人材ニーズへの対応面での課題

- ① 今後成長が見込まれる次世代産業分野において求められる人材の育成が必要。
- ② 「ものづくり県・兵庫」の基盤技術を更に高度化するため、在職者の技能向上の取組み、民間企業等が実施する訓練、労働者本人の主体的なキャリア形成の支援が必要。
- ③ 雇用が改善する中、中小企業や建設、介護・福祉等の業種では人手不足が顕在化しており、雇用のミスマッチ解消と中長期的な人材育成への取組が必要。
- ④ 地域創生戦略のもとで地域産業の持続的な成長を支える担い手の裾野を拡大することが必要。
- ⑤ 県内企業の海外展開に必要なグローバル人材等の育成の促進が必要。

(3) 技能振興面での課題

- ① 日本の熟練技能・伝統技能の維持・発展のため、技能継承の促進、若年労働者に対する職業能力開発、技能尊重気運の醸成が必要。
- ② 次代を担う青少年に対し、職業としてのものづくりに対する認識を深めるため、本格的なものづくり体験の機会と場の提供及び、学校教育における取組と合わせた一層の職業意識醸成が必要。

(4) 公共職業能力開発施設における取組の課題

- ① 官民の役割分担に配慮しつつ、民間で実施困難なものづくり分野及び障害者や社会的弱者等きめ細やかな対応を要する者への訓練の実施が必要。
- ② 地域産業界のニーズに応じた職業能力開発の機会を質的・量的に確保することが必要。
- ③ 行政運営の観点から、職業能力開発を効果的・効率的に推進することが必要。

第3章 職業能力開発施策の基本的方向

1 多様できめ細かな職業能力開発の推進による若者・女性・高齢者・障害者など多様な人材の育成

- (1) 若者に対する職業意識の醸成とキャリア形成への支援（こた等に対する職業意識の醸成（NPO法人等と連携）、若年未就職者等に対するインターンシップ等の活用・社会人の基礎スキルを教える講座の実施、中学・高校・大学等と連携した職業観醸成）【KPI】若者(25～39歳)の有業率
- (2) 女性の活躍を促進する職業能力開発の実施（産休・育休後の就業・復職の支援強化、子育てしながら働くための環境整備、就職困難者（母子家庭の母等）の特性に応じた職業能力開発の促進、産婦人科や保健所等と連携した再就職支援のための情報発信、就業率が低い都市部での女性復職プログラムの開発、女性が高いスキルを身に付けるための職業能力開発の展開）【KPI】女性(30～39歳)の有業率
- (3) 高齢期における地域創生の担い手としての活躍を見越した職業能力開発への支援（キャリアのブラッシュアップによる就労機会の確保支援、高齢者に適した職業能力開発による新分野への就職支援）【KPI】高齢者(65～74歳)の有業率
- (4) 障害者など特別な支援を要する者への職業能力開発の推進（精神障害者・発達障害者等障害の態様に適した職業能力開発、精神障害者・発達障害者を雇用する企業への相談サポート体制の充実、障害者の採用促進に向けた企業の意識転換、特例子会社等の普及等障害者に見合った仕事の提供促進、在宅ワークの活用に向けた環境整備）【KPI】障害者雇用率(法定雇用率)
- (5) 起業等も含めた多様な働き方の推進（UJターンと地元での就職・定着の促進、コミュニティ・ビジネスの創出、女性・高齢者等の起業促進、ひょうご仕事と生活センターを核としたWLBの促進）【KPI】県の支援によるUJIターン就職、起業・創業の拡大によるしごと創出数

2 非正規雇用労働者の正規雇用化対策の推進

- (1) 非正規雇用労働者を正規雇用につなげる職業能力開発の推進（実習・座学連携養成訓練、雇成型訓練の拡充、ジョブ・カード等を活用したキャリアコンサルティング）【KPI】若者(25～39歳)の雇用者のうち正規雇用者の比率
- (2) 企業内におけるキャリアアップを支援する職業能力開発の推進（企業の正社員登用促進や実績の見える化、正規雇用化・処遇改善の促進）

3 次世代産業や地域産業の担い手育成など産業界や地域における人材ニーズへの対応

- (1) 成長が見込まれる次世代産業を担う人材の育成（次世代産業の創出による雇用創造プロジェクト）【KPI】次世代産業におけるしごと創出
- (2) 本県の「ものづくり」を支える中小企業の中核的技術者の育成（離転職者向け職業能力開発の促進、在職者訓練の充実）【KPI】在職者訓練実施人数
- (3) 新たな産業の創出に向けたIT・クリエイティブ人材の育成（全ての訓練分野におけるITの基礎知識の習得、委託訓練等を活用したIT人材の育成強化）
- (4) 人手不足分野のミスマッチ解消に向けた人材の育成（建設・介護・福祉等 潜在的な人材の活用に向けた訓練）【KPI】福祉・介護分野での仕事の創出
- (5) 地域の生活や産業を支える人材の育成（専門職人養成塾等による地場産業・伝統産業の人材育成、農林水産業等の担い手育成と就業促進）【KPI】新規就農者数(60歳未満)
- (6) グローバル人材の育成・獲得（県内企業への留学生採用の普及啓発や就職マッチング、地場産業人材向けの国内外留学の実施、教育訓練給付等の活用促進、英語等の外国語を駆使できる人材育成）【KPI】県内中小企業等へ就職した外国人留学生

4 技能者の技能継承への支援など技能振興の推進

- (1) 伝統技能も含めた技能者育成と技能継承への支援（若者の「ものづくり産業」離れの防止、指導者の育成）【KPI】在職者訓練実施人数
- (2) 技能者の技能水準の向上（優れた技能者に対する顕彰・認定制度等の拡充、技能検定制度の推進、技能競技大会の実施）【KPI】「ひょうごの匠」認定数
- (3) 技能尊重気運の醸成（技能フェスタなど優れた技能に触れる機会の提供、ものづくり体験館事業の実施）【KPI】ものづくり体験館学習実施数

5 公共職業能力開発施設における取組の充実 【KPI】職業能力開発校における就職率、委託訓練による就職者数、障害者委託訓練による就職者数

- (1) 公共職業能力開発の基本方向（ものづくり技術者の体系的・段階的育成、職人づくりに向けた実習訓練の強化、障害者や社会的、経済的弱者への支援、技能向上・継承の促進、職業意識の醸成、民間教育訓練施設で実施可能な訓練は民間委託を推進）
- (2) 地域からの期待に対応した特色ある職業能力開発の展開（産業界の地域ニーズを踏まえた訓練コースの設定、職業訓練指導員の資質向上、訓練生の就職率の向上）
- (3) 企業が在職者の職業能力開発の充実（企業ニーズの高い基礎的分野(汎用性の高いものづくりの基盤となる技術)の訓練メニュー拡充、中小企業従業員の施設内訓練への受入促進とそのための環境整備、訓練施設・設備の民間開放の促進）
- (4) 障害者の特性に応じたきめ細かな職業能力開発の実施（精神障害者・発達障害者等を対象とした訓練の拡充）

第4章 職業能力開発の効率的・効果的な展開

1 関係機関との連携

- (1) 労働局、ポリテクとの連携（離転職者向け訓練等の総合的な実施、地域レベルコンソーシアム会議）
- (2) 経済界・労働界・関係団体との連携（兵庫しごとカレッジ推進会議）
- (3) 地域産業界との連携（播磨ものづくり技能ネットワーク協議会、豊岡工業会等）
- (4) 学校教育との連携（教育委員会、大学、専修学校）

2 情報提供、情報交換

タイムリーな情報提供（ホームページでの訓練メニュー発信、ポータルサイト活用、産婦人科、乳幼児検診時の活用）

3 評価指標[KPI]の設定と実施状況の検証

職業能力開発を通じて、県民一人ひとりが自己の希望や適性を生かし、多様で安定的な就業、就職を実現。

県民の多様な潜在力と政労使一体となった取組を生かした「人材力」強化

活力あるしなやかな産業構造の構築と兵庫の地域創生